

平成 27 年度 第 1 回コンクリート常任委員会
議事録

日時：2015 年 5 月 26 日（火）14 時～17 時

場所：土木学会 A, B 会議室

出席者：前川委員長，石田幹事長，氏家，梅原，河合，岸，坂井，坂田，佐藤，島，下村，鈴木，武若，田中，谷村，土谷，松田，丸屋，水口，横田の各常任委員，綾野，岩波，小林，斉藤，名倉，久田の各常任委員兼幹事，二瓶

配付資料：

- 1 平成 27 年度 第 1 回コンクリート常任委員会 議事次第
- 2 平成 27-28 年度 コンクリート委員会 委員構成
- 3 平成 26 年度 第 6 回コンクリート常任委員会 議事録
- 4 平成 27 年度 コンクリート委員会・常任委員会 開催予定
- 5 コンクリート標準示方書の改訂作業状況について
- 6 土木学会コンクリート委員会 規準関連小委員会 平成 27 年度委員構成案
- 7 土木学会コンクリート委員会 土木材料実験指導書編集小委員会 委員構成（案）
- 8 コンクリート委員会／国際関連小委員会
- 9 コンクリート標準示方書に基づく数値解析認証小委員会 委員構成
- 10 汚染水貯蔵用 PC タンク検討小委員会 委員構成
- 11 <委託>非鉄スラグ骨材コンクリート研究小委員会（269）委員構成
- 12 施工性能にもとづくコンクリートの配合設計・施工指針改訂小委員会 委員構成
- 13 平成 27 年度全国大会開催に伴う研究討論会・企画（案）
- 14 第三種委員会（第二期）設置申請書（セメント系構築物と周辺地盤の化学的相互作用研究（345）小委員会）
- 15 平成 26 年度 コンクリート委員会 一般会計 決算
- 16 鉄筋コンクリート構造の疲労破壊研究小委員会（347）委員構成
- 17 コンクリート構造物の品質確保小委員会（350 委員会）委員構成
- 18 JSCE-VCA Joint Seminar
- 19 Joint Seminar on Maintenance of Concrete Structures in Philippines
- 20 コンクリート構造物の安全確保のためのシステムに関する研究小委員会（225 委員会）・成果報告会のお知らせ
- 21 繊維補強コンクリートの構造利用研究小委員会（346 委員会）・成果報告会のお知らせ
- 22 アジア土木技術国際会議（CECAR）への論文投稿の案内

議事：

1. 委員長挨拶

前川新委員長より，委員長就任にあたっての挨拶があった。

- ・ 示方書の改訂がコンクリート委員会の最重要のミッションである。今年から改訂作業が始まるので，世の中に貢献するメッセージを継続して発信していきたい。
- ・ コンクリート委員会のメンバーが日本のコンクリート工学のレベルを代表する。質の高い活動を継続する。
- ・ 昨年土木学会は 100 年を迎えた。これまでのコンクリート委員会の活動は，100 年宣言でうたわれている精神に適合するものであったと思う。これからもコンクリートを通じて土木と世の中に貢献していきたい。

2. コンクリート委員会の委員構成【資料2】

前川委員長より委員構成について説明があった。

- ・ 常任委員の人数が規定定員 30 人を大幅に超過しているが、世代交代の時期でもあり、敢えてこの構成にした。
 - ・ 女性 2 名にコンクリート委員会委員に就任頂いた。近々、Diversity 宣言が土木学会から出される予定である。
 - ・ 顧問は示方書改訂にお実質的な助言等を求めることを鑑み、前コンクリート委員会委員長、前幹事長、前示方書改訂小委員会委員長、前土木学会会長歴任者をお願いした。
- その後、出席者全員から簡単な自己紹介がなされた。

3. 平成 26 年度第 6 回コンクリート常任委員会議事録の紹介【資料3】

前期のものであるため、内容は既に確定しており、内容が岩波幹事から紹介された。

4. 平成 27 年度 コンクリート委員会・常任委員会開催予定【資料4】

石田幹事長から、年間予定が説明され了承された。

審議事項：

1. 第 1 種第 2 種委員会の委員構成

以下(1)~(8)について審議し、了承を得た。

(1) コンクリート標準示方書改訂小委員会【資料5】

下村委員から 2014 年度の活動内容について説明がなされたうえで、[改訂小委員会][設計部会][施工部会][維持管理部会]の委員案が提示された。

- ・ 前回改訂時と比較して部会数が減ったので、のべ委員数も 40 名ほど減った。
- ・ 当面、運営部会は設けない。
- ・ [設計部会]に津波 WG が設置されたが、来年、東日本大震災から 5 年目にあたり、土木学会でも行事が計画されている。コンクリート委員会にも話題提供を求められる可能性があるため、できれば先行して活動をして欲しい。

(2) 規準関連小委員会の委員構成【資料6】

- ・ 石野田委員は取下げ、KW 研究所 正村克身氏を追加。

(3) 土木実験指導書編集小委員会の委員交代【資料7】

(4) 国際関連小委員会の委員交代【資料8】

- ・ Newsletter でも示方書の情報を紹介しているが、さらに英語での発信力を高めるために、示方書担当 WG を設けることとした。

(5) コンクリート標準示方書に基づく数値解析認証小委員会の委員交代【資料9】

- ・ 技術推進機構の技術認証のしくみに載ることとなった。

(6) 汚染水貯蔵用 PC タンク検討小委員会の委員交代【資料10】

(7) 非鉄スラグ骨材コンクリート研究小委員会の委員交代【資料11】

(8) 施工性能にもとづくコンクリートの配合設計・施工指針改訂小委員会の委員交代【資料12】

2. 示方書連絡調整小委員会の活動成果【事前配付資料】

佐藤委員から報告書について説明がなされた。

- ・ 各編の連携は、今回の示方書改訂でも取り組もうとしている課題であるが、具体的にはどんな成果が得られたか。
 - 十分な成果を出すことが出来なかった。これはコンクリート標準示方書は対象構造物を限定しないため、またそのために外力が決められないことも、一因である。
 - 旧基準で設計されたものを維持管理するのは、評価基準が定まらないため、非常に難しい。その場

合、性能評価が難しいので、仕様の評価する方法も充実させて欲しい。

- ・ 示方書とは、それに従えば最低限の品質が満たされる、という位置づけだと理解しているが、ここでの4階層構造との関連はどうなっているのか？
 - 全てをカバーするのは基本編と標準編、材料がある程度絞られた段階では標準仕様編、完全に材料が特定されたら仕様編、である。上位階層である前二者は土木学会が、後二者はコンクリート委員会が責任を取る、というスタンスで執筆している。
- ・ 上位の基本編と標準編は、コンクリート委員会だけでなく他の委員会でも取り扱っており、それらと統合化できるのではないかな？
 - 建築分野との統合も含めて、議論はした。現状では建築との統合は難しいが、いざという時に土木側の回答が出せるように準備しておくことは必要であると考え。
- ・ 付帯設備の安全性についての議論は行なったのか。
 - 標準仕様や仕様ではなく、上位の基本編や標準編で取り扱う内容であろう。
- ・ 問題の具体例を、設計にフィードバックして欲しい。施工の不具合を誘発しないような設計が必要であり、示方書がそのような体系になっているか確認・検討が必要である。

6月15日締切りで、報告書に関する意見を募る。意見があれば佐藤委員、あるいは幹事団まで連絡を。その内容も踏まえ、幹事会で検討して、報告書をweb上での公表とするか、技術シリーズとして出版するかを決める。

3. 全国大会研究討論会の企画【資料13】

岩波幹事から企画について説明がなされた。比較的若手から話題提供してもらい、フロアから意見をいただく形としたい。話題提供者を募る。岩波幹事まで推薦を。

4. 第3種委員会の継続申請

(1) セメント系構築物と周辺地盤の化学的相互作用研究小委員会(345委員会)第2期【資料14】

石田幹事長から代理で説明があった。1期目の活動を踏まえ、WGの再編を行い、委員長を交代した上で、2期目の活動を行ないたい。

- 特に意見なく承認された。委員については公募する。

報告事項：

1. 平成26年度の決算報告【資料15】

石田幹事長から説明がなされた。剰余金は示方書仕掛金を返却することで処理した。

2. 平成26年度活動度評価結果通知

昨年度のコンクリート委員会に対する評価はAであった。なお、評価は行事参加人数と出版物の販売部数を加算したものに対して行なわれ、コンクリート委員会は桁違いに活性度が高い。

3. 3種委員会の委員構成

岩波幹事から「鉄筋コンクリート構造の疲労破壊研究小委員会(347)」「コンクリート構築物の品質確保小委員会(350)」の委員交代が報告された。【資料16】【資料17】

4. 報告会・講習会の実施報告

(1) JSCE-VCA Joint Seminar【資料18】

石田幹事長より、2015年4月16日、17日にハノイで開催されたベトナムコンクリート協会とのジョイントセミナーの報告がなされた。

配布資料内に当日の質疑を掲載しているので、参考されたい。

5. 報告会・講習会の開催予定

岩波幹事から、以下の3つの報告会・講習会についてアナウンスがあった。

- (1) Joint Seminar on Maintenance of Concrete Structures in Philippines 8月26日【資料19】
- (2) コンクリート構造物の安全確保のためのシステムに関する研究小委員会(225委員会)・成果報告会,
9月9日(火) 土木学会講堂にて【資料20】
- (3) 繊維補強コンクリートの構造利用研究小委員会(346委員会)・成果報告会, 8月24日(月) 土木学
会講堂にて【資料21】

6. その他

- ・ アジア土木技術国際会議(CECAR)への論文投稿の案内【資料22】

次回開催日:

平成27年度第2回コンクリート常任委員会

日時: 2015年7月17日(金)(JCI年次大会翌日) 14時~17時

場所: 土木学会 AB 会議室

議題は7月6日(月)までに幹事へ

話題提供:

「コンクリート構造物の構築における生産性向上について」(坂田委員)